

## 令和2年度薬理学関連教科担当教員会議 全体会議

2020年8月27日(木) 13:30-16:30

(オンライン会議)

13:30

- 委員長挨拶 資料 1-1
- 新委員紹介 資料 1-2
- 審議事項
- ① 次年度役員の選出 資料 1-3
- ② 役員任期の変更 資料 1-4
- 報告事項
- ① 2021年度生体機能と創薬シンポジウムについて  
2021年度実行委員長 南 雅文 先生(北海道大学)
- ② 第105回薬剤師国家試験問題検討委員会報告 資料 2  
薬理部会委員長 斎藤 顕宜 先生(東京理科大学)
- ③ 日本薬学会薬理系薬学部会の活動について 資料 3  
日本薬学会薬理系薬学部会部会長 橋本 均 先生(大阪大学)

休憩

14:30

- 教育講演(60分)・質疑応答 資料 4
- 「動物の愛護及び管理に関する法律」並びに「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」  
公私立大学実験動物施設協議会会長 喜多 正和 先生(京都府立医科大学)

15:45

- COVID-19の薬理学教育への影響 資料 5~7
- ① COVID-19に対する各大学の対応と生理学及び薬理学教育への影響に関する緊急合同調査：薬学薬理での調査結果 田中 智之 先生(京都薬科大学)
- ② 事例紹介1 オンライン試験：リモート試験とオンライン試験  
金子 周司 先生(京都大学)
- ③ 事例紹介2 オンライン実習：シミュレーターを用いた腸管平滑筋マグヌス実験  
野村 洋 先生(北海道大学)

16:25

- 次年度薬理学関連教科担当教員会議の案内  
2021年度委員長 上原 孝 先生(岡山大学)

16:30 閉会

## 令和2年度薬理学関連教科担当教員会議 全体会議議事録

日時：令和2年8月27日（木）13:30-16:30

オンライン会議：北海道大学のCisco Webex 遠隔授業システムを使用

議長：比佐 博彰（令和2年度委員長 九州保健福祉大学）

出席者：94名（別添1）

配布資料：OneDriveにて配信 <https://1drv.ms/u/s!Akig0aGcf3kzaoJMnZMyq091gn8?e=abZ5LG>

- 資料 1-1～4 #1 会則・名簿・審議事項. pdf
- 資料 2 #2-0 シンポジウム案内. pdf
- #2 国試問題検討委員会報告. pdf
- 資料 3 #3 薬理系薬学部会活動. pdf
- 資料 4 #4 教育講演. pdf
- 資料 5 #5 調査結果-田中先生. pdf
- 資料 6 #6 オンライン試験-金子先生. pdf
- 資料 7 #7 オンライン実習-野村先生. pdf

### 1) 新委員紹介

教員会議名簿（資料1-2）の提示を以て新任委員13名の紹介とした。

### 2) 審議事項：承認の可否にはチャット機能を使用した。

#### ① 次年度役員の選出

令和3年度の役員構成について、薬理学関連教科担当教員会議会則（資料1-1）に基づき役員会で作成・検討した案（資料1-3）を全体会議に諮り、下記の原案通りに賛成多数で承認された。任期については次の議題「役員任期の変更」において承認された。

令和3年度薬理学関連教科担当教員会議役員会（任期：令和3年4月1日～令和4年3月31日）

委員長	上原 孝（岡山大学）
副委員長（国公立）	石川 智久（静岡県立大学）
副委員長（私立）	川畑 篤史（近畿大学）
参与（国公立）	金田 勝幸（金沢大学）
参与（私立東日本）	三澤 日出巳（慶応義塾大学）
参与（私立西日本）	徳富 直史（崇城大学）
事務局	中原 努（北里大学）
事務局補佐	松尾 由理（北陸大学）

## ② 役員任期の変更

役員の仕事「1月1日～12月31日」を他分野の教員会議と同様に「4月1日～3月31日」へと変更し役員会内規へ明記すること（資料1-4）、また今年度役員に限り任期を3月31日まで延長すること、以上が賛成多数で承認された。

## 3) 報告事項

### ① 2021年度生体機能と創薬シンポジウムについて

2021年度生体機能と創薬シンポジウム実行委員長 南雅文教授（北海道大学）より、同シンポジウムが2021年8月26日（木）～27日（金）に北海道大学薬学部にて開催されるとの案内があった（資料2）。

### ② 第105回薬剤師国家試験問題検討委員会報告

日本私立薬科大学協会 2020年度薬剤師国家試験問題検討委員会薬理学部会委員長 斎藤顕宜教授（東京理科大学）より、国試問題アンケートの集計結果が報告された（資料2）。

全体的に見て出題範囲の偏りや出題基準からの逸脱はなく、既出の薬物から臨床的重要度の高い未出題の薬物までバランスよく取り上げられていたこと、分野横断的・総合的な知識が求められる問題が多かったこと、などの説明があった。

### ③ 日本薬学会薬理系薬学部会の活動について

日本薬学会薬理系薬学部会部会長の橋本均教授（大阪大学）より、「生体機能と創薬シンポジウム」、「次世代を担う創薬・医療薬理シンポジウム」の開催状況と今度の予定が報告され、また令和元年度日本薬学会薬理系薬学部会奨励賞受賞者3名が発表された（資料3）。

## 4) 教育講演

演題 「動物の愛護及び管理に関する法律」並びに「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」

公私立大学実験動物施設協議会 会長 喜多正和教授（京都府立医科大学）を招聘し、薬学の研究・教育に不可欠である動物実験について、動愛法を基本とした各種法令の位置づけ、動物実験を取り巻く社会的状況、苦痛軽減の具体的な方法や考慮すべき点などをお話しいただいた（資料4）。委員長からの問に対し喜多先生から以下のアドバイスがあった。

### ① 学生実習について

学生実習で初めて動物実験に取り組む学部学生に対しては、法令と3Rについて十分に理解させておくこと。そのための教育用動画を実験動物学会で作成中である。

### ② 外部検証について

動物実験に関する外部検証は、大きな法令改正があったとき、または5-7年を目処とし、さらに大学としてアピールしたい場合も受けたほうが良い。

## 5) COVID-19 の薬理学教育への影響

発表に先立ち、本セッションを録画して日本薬理学会評議員が閲覧可能とするため、チャット機能にて参加者に録画の許可を得た。

### ① COVID-19 に対する各大学の対応と生理学及び薬理学教育への影響に関する緊急合同調査：薬学薬理での調査結果

日本薬理学会企画教育委員会が実施した表題の調査アンケート（8月初旬に委員長から本教科担当教員会議委員全員へ回答を依頼）について、田中智之教授（京都薬科大学）が集計結果を発表した（資料5）。

岩崎克典教授（福岡大学）が「講義はオンラインで何とかできているが、実習は教員が実習を行っているところを動画に収め、その動画を学生に見せて実験データを読み取らせることを考えている。シミュレーターの使用も考えており、特徴を知りたい。特に中枢作用薬のシミュレーターについて知っている方にはお教え願いたい」とコメントした。

### ② 事例紹介 1

金子周司教授（京都大学）が京都大学薬学部における薬理学の授業を例に、ビデオ動画（YouTube）視聴による事前学習、オンラインでの小テスト、リモートでの筆記試験および成績評価について説明した（資料6）。

### ③ 事例紹介 2

野村洋講師（北海道大学）からシミュレーターを用いオンラインで行なう腸管平滑筋マグヌス実験の説明があり、実習を体験した学生の感想が紹介された（資料7）。

岩崎教授が「薬理学の実習は薬物が生体にどのように作用するのかを体感させるものであると考えるが、学生が薬物の作用を感じられるようなシミュレーションの導入方法はどうかやっているか」と質問した。

野村講師が「シミュレーションを行う前に実際に薬物を動物に投与した動画を見せている、ただしやはり実際に体感させたほうが良いのではないかと回答した。

安東教授（千葉科学大学）が演者全員へ「インターネット環境の整備にはお金がかかると思うが、どのように整備されたのか」と質問し、次の回答があった。

金子教授「京都大学は大学独自のシステムを持っているのでそれを使用したが、他のシステムを使用することも可能と考える。学生においては、9割はインターネット接続環境を整備できているが、1割はネットワーク環境を持たない学生がおり、その1割にはモバイル Wi-Fi を配ることで解決した」

田中教授「アンケート結果からは、大学によってかなり環境が違うことがわかった。学生の状況も個々で異なる。また教員の配信講義の PC スキルにかなり差があると考えられる」

野村講師「北海道大学は大学が契約している Webex や Zoom を使用した。5 月以降大学が接続環境を増強しアクセス状況は良くなった。学生の一部はネットワーク環境が乏しく学習が大変だったかもしれない」

安東教授が「地方ではネットワーク環境があまり整備されていない、先生方からのコメントを来年以降の参考としたい」と返信した。

#### 6) 次年度薬理学関連教科担当教員会議

次年度委員長の上原孝教授（岡山大学）より、令和 3 年度薬理学関連教科担当教員会議を例年通り「生体機能と創薬シンポジウム」と合同で開催する（2021 年 8 月 26 日（木）北海道大学薬学部）との案内がなされた。

以上

2020 年 9 月 30 日